

日本版デュアルシステム 普通課程活用型 在所生の声

電気技術科 春山 一行さん

この一年間ポリテクセンターで、デュアルシステムという形で職業訓練を受けさせていただきました。この訓練を始める前はアルバイト生活でしたが、将来のことを考えたときに「このままではいけない」と思いました。すぐに正社員というよりは、安定した、誇りの持てる職業に就きたいと考えていました。

しかし、アルバイト生活が長く、是といって何がしたいという考えも無く日々をすごしていましたので、職を探すにしてもどこからどういう風にアプローチをかけてよいか分かりませんでした。

そのような中で、職場体験をしながら仕事の知識を学ぶことができるというカリキュラムがあることをテレビ等で知り、就職に有利な資格等も取得できるということから、広島センターで一年間頑張ってみようと決心しました。

電気の知識は、ほとんどありませんでしたが、元々、家電製品の操作等は苦ではありませんでしたのですんなりと授業に入っていくことができたと思います。

電気の勉強は、高校生の頃に少し勉強した程度でしたが、勉強が進むにつれていろいろな仕組みが理解できて楽しかったです。

制御の勉強では、あれこれと考えながら、自分が組み立てたものが自分の思い通りに動いたときはとてもうれしく、感動しました。

電気工事の実習では、講師の方の手際の良い作業や技術を見せていただき、感心するとともに現場でのプロの厳しさを痛感しました。

また、実習場での模擬住宅での電気配線工事は、クラス全員での共同作業でしたが、習ったことを実際の現場でやってみると、なかなかうまくいかなかったり、他の訓練生との意思疎通がうまくいかなかったりと、共同作業の段取りや指示の出し方、確認の大切さを実感しました。しかし、電気がついたときは苦勞した分の達成感を味わうことができました。

それから私は電験三種の補習に参加しました。最初は、この資格がどのようなもので、どのような方面に役立つのか理解していませんでした。せっかくの機会なので取れる資格は取っておこうとあまり深く考えていなかったのですが、ここからが苦勞の始まりでした。



電工二種がすいすい解けたので少し簡単に考えていた部分があったのですが、電験三種の内容は自分にとってはとても難しく一気におちこぼれ状態になってしまいました。補習はなんとかついていく状態で、このまま続けていいのだろうかと思直していました。しかし授業が進む中でこの資格が仕事に就く上でとても有利なもので、これから将来に向けてこの資格を持っていたほうが良いことを知り、自分もこの資格を取ってそれを活かせる仕事に就きたいと考えました。そこから何とか自分なりに頑張っ、授業も少しずつ理解できるようになり、難しい分理解できたときはうれしく思いました。結果はまた来年チャレンジということになりましたが、自分の仕事の方向性が見えてきたのでこの勉強は無駄ではなかったと確信しております。就職先は、ビルメンテナンス業を希望しています。様々な資格が必要な職業だと思いますので、まず電験の資格取得に向けて頑張っていこうと思います。最後に、電気系の先生をはじめ部外講師の先生方には仕事に対する心構えから、資格取得に向けての授業や職業探しのお手伝いまでしていただき、とても感謝しております。一年間という長いような短い期間でしたが、本当にありがとうございました。